



地域をあげておもてなし



民泊による修学旅行の利用が4月から始まり、ご近所でも大型バスや修学旅行生を目にすることが多くなるといいます。

市内には、民泊だけではなく、世界文化遺産「原城跡」や九州オルレ南島原コース、海水浴場などもあります。観光で訪れたお客様に対し、笑顔であいさつをしたり、写真撮影のお手伝いや簡単な道案内など、あたり前の温かいお迎えができれば、きっとまた「南島原」を訪れていただけたらと思います。

どのようなことでも構いませんので、あなたにできる『おもてなし』で観光客をお迎えしましょう！

また、この民泊事業は海外からのお客様の受入れも行っています。言葉が伝わらない中でも身振り手振りでコミュニケーションを取りながら交流し、海外にも多くの「南島原ファン」を作っています。特に最近では中国の小・中・高校生の利用が多くなっており、地元の子と学校交流を行うなど民泊の受入家庭だけではなく、地元の子もたちにも国際交流の場を提供しています。

今年4月16日には台湾の私立文興高級中学から40人、5月15日にも同じく台湾の国立北門高級中学から35人が口加高校を訪問し学校交流を行いました。今回は、同校のグローバルコースの2・3年生と一緒に日本の授業や茶道体験を行ったり、台湾の学校から中国独楽やダンスの披露を行ったりするなど親睦を深め、お互いに海外の友人を作る良い機会となりました。

受入家庭募集中！

現在、市内には170軒を超える受け入れ家庭がありますが、年々民泊の利用を希望される人数が増加しており、まだまだ受入家庭が不足しています。ぜひあなたも、地域を元気にし、自分自身も元気ももらえる農林漁業体験民泊を始めてみませんか。ちょっと話だけ聞いてみたいという人も大歓迎です。興味がある人はお気軽にお問い合わせください。

園観光振興課 ☎73-6632 または (一社)南島原ひまわり観光協会 ☎65-6333



特集 民泊シーズン到来!



南島原ひまわり観光協会
キャラクターひまわり四郎くん

～訪れる人を南島原ファンに！～

市では、平成21年度からひまわり観光協会とともに農林漁業体験民泊事業に取り組んでいきます。利用者数は、熊本地震の影響で一時的に落ち込みはあったものの、その後は順調に推移し、平成30年度は過去最高の12,881人(うち修学旅行生1,151人)を受け入れました。昨年は修学旅行の受入れを始め、8年目にして、修学旅行生の利用者が5万人を突破しました。

今年度も4月12日から修学旅行の受入れをスタートし、4月20日に兵庫県姫路市立朝日中学校が到着した際には、松本市長も受入家庭の皆様と一緒に修学旅行生を迎えました。

お客様は「南島原」での体験に満足し、「南島原ファン」となっており、帰られます。その結果、多くの利用校はリピーターとなっており、何度も「南島原」の民泊を楽しみに来ていただいています。

温かい受入家庭の人たちとのふれあいによる感動に出会えることが、その理由ではないでしょうか。

CONTENTS



特集：民泊シーズン到来！	2～3
～訪れる人を南島原ファンに！～	
まちの話題	4～6
歯と口の健康週間	7
南島原にゆーす	8～15
教えて！国民年金	15
世界遺産コラム・消費生活センター	16
もっと南島原ツアー・南島原の考古学	17

九州オルレ「令和の幕開けオルレ」	18
島原半島世界ジオパーク	19
くらしの情報	20～23
南島原市図書館だより	24
国際交流員コラム	25
保健事業のご案内	26～27
市民カレンダー	28